

講演「聖地で学ぶ石塔」

全国に散らばる石造物の系譜をたどると、関東で現在目にする石塔の多くは鎌倉時代に伝えられたという歴史が見えてきます。その発信地のひとつとなったのが鎌倉の極楽寺。つまりこの寺院は石塔研究者にとって聖地と言ってもよい場所なのです。重厚な歴史を伝える石塔は境内の至る所に残されていますが、今回は特別に聖地の奥の院にて、歴史的転換点となる実例を前にしつつ、マニアックな知識を初心者にもわかるよう解説いたします。



講師 古田土俊一（こたとしゅんいち）氏

浄光明寺執事。鶴見大学文学部文化財学科・神奈川大学国際日本学部歴史民俗学科非常勤講師。博士（文化財学）。日本考古学協会会員。NPO法人鎌倉考古学研究所理事。専門は中世考古学。特に石造物。近年の論文：『僧墓の起源と地下式坑・やぐらの発生』『寺社の変容と石造物文化の受容』『やぐらの新地平一起源と系譜一』など。

受付No. _____

第10回 出張鎌倉ミュージアム
『古田土俊一氏による講演と北条重時公墓特別参拝』

参加申込書

【申込先】公益社団法人鎌倉市観光協会 FAX(0467-22-3516)

下記の通り、参加を申し込みます。（1申し込みにつき2名まで）

希望時間帯 (希望に○)	2026年11月3日(火) ① 10:00～12:00 ② 14:00～16:00 ③ どちらでもよい ※①②とも同内容		
氏 名	(フリガナ)		
住 所	〒 ー		
電話番号		FAX番号	
Eメール	@		
参加希望人数 (代表者含め2名まで)	名	本人以外の 参加者氏名	(フリガナ)

【申込締切】 2026年10月13日(火)16時